



「じいぶ」の「こぼれ」
 ショーン

スクールサポーター
 (臨床心理士)
 小林 真理

「日本語ってむずかし
 しい」

生活していて、誰でも一度は
 感じたことがあると思います。

同じ言葉でも状況によって
 内容や意味が違ってくるこ
 があるからです。例えば、「いく
 つ？」という質問でも、年齢を
 聞いている場合、個数を聞いて
 いる場合、おおよざっぱに身長や
 体重、時には服やくつのサイズ
 を聞いている場合などがあり
 ます。

「たいやき屋さん」に並んで
 いて、お店の人に『いくつ？』
 と聞かれて、子どもが『8歳』
 と答えていたんですよ。恥ずか
 しくなっちゃいましたよ。』
 と話してくれたお母さんがい
 ました。

こういったことは、笑い話と
 して場を和ませることもあり

ますが、発達障がいの子どもに
 とっては、会話の流れやシチュ
 エーションを想像して「言葉
 の意味合い」ととらえることが
 苦手であること、つまり日常生
 活の中で話しが通じにくい、と
 いうことがよくあるのです。

以前こんなことがありまし
 た。小学校4年生の発達障がい
 の男の子とコミュニケーション
 練習(これをソーシャルス
 キルトレーニングといいます)
 のための面接の際に、「自分の
 好きなところをいくつかあげ
 てください」という質問カード
 を出しました。…みなさん
 ならどう答えますか？

この男の子は「スーパーで
 しょ！コンビニでしょ！あと
 お肉屋さん、ほら、あそこにあ
 るでしょ？」と嬉しそうに「好
 きな場所」を書きだしたので
 す。…

質問に対して多くの方は「自
 分の長所(好きなところ)って
 なんだろう？」と考えを巡ら
 せたのではないでしょう。こ
 の子の答えは質問に対して、確
 かに「好きなところ」です。し
 かし質問カードの意図は「自

分の長所をあげる」というこ
 とだったので。本人として
 は「しっかり答えられた」とい
 う気持ちでいるのですが、この
 ような通じにくさがあるとコ
 ミュニケーションで困ること
 も生じてしまい、時には周りか
 ら「何言ってるの？」とからか
 われてしまうこともあるかも
 しれません。そしてこういった
 ことが重なると、「コミュニケー
 ションを控える」という形で二
 次障がい(広報かるいざわ10
 月号参照)につながってしまう
 こともあるのです。

「言葉の意味合い」について
 は、「どつやったら伝わるか」
 を考えることも大切ですが、意
 図とは違う答えが返ってきた
 際に「なぜその答えなのか」を
 一瞬考えてみるといいかもし
 れません。

その答えに至った背景を考
 える、この一瞬の理解があれば
 「からかい」にはつながりませ
 ん。そしてこういった小さな理
 解の積み重ねと思いやりが必
 要なのですね。

軽井沢中部小学校吹奏楽部
 ありがとうコンサート

1月12日に軽井沢大賀ホールにて、ありがとうコンサートが
 盛大に開催されました。

お世話になった方々へ感謝の心を音に込めて演奏しました。
 合わせて、中部小
 学校太鼓クラブの力
 強い発表がありました。

